



板橋区

体協ニュース

第91号

平成26年8月20日発行

「りんりんちゃん」



Itabashi Amateur Athletic Association News

公益財団法人
板橋区体育協会〒174-0051 板橋区小豆沢 3-1-1 小豆沢体育館3階 TEL:03-5915-5568 FAX:03-5915-1705
URL: <http://www.itabashi-taikyo.or.jp/>

体育協会の新体制が決定

— 下田賢司会長を再選 —

任期満了に伴い理事の交代がありました。6月23日(月)に開催された評議員会で25名の方が理事として選任され、その後開催された臨時理事会で下田賢司さんを板橋区体育協会の会長に選定しました。平成26・27年度は以下の方が理事としてそれぞれの業務を担当します。更に、評議員、監事の異動がありました。

なお、退任の理事は3名です。

会 長	下田賢司(理事会推薦)
副 会 長	豊泉和男(会長推薦)
〃	加藤勝一(会長推薦)
専 務 理 事	高澤 誠(卓球連盟)
常 務 理 事	吉田輝男(軟式野球連盟)
常 務 理 事	安田満雄(剣道連盟)
企画・財政部長	吉田輝男
ロードレース事業部長	安田満雄
ハイキング事業部長	小抜武雄(ソフトボール連盟)
広 報 部 長	関 昭(バドミントン協会)
総 務 部 長	若月欣次(会長推薦)
企画・財政副部長	三浦敬司(陸上競技協会)
〃	末吉 寛(柔道連盟)
〃	河野忠美(会長推薦)
ロードレース事業副部長	大久保正明(バレーボール連盟)
〃	高松昭二(バスケットボール連盟)
〃	藤野一郎(アーチェリー協会)
〃	深山能房(ライフル射撃協会)
ハイキング事業副部長	高橋正一郎(ソフトテニス連盟)
〃	下野敏弘(スキー協会)
〃	福手敏夫(サッカー連盟)
広 報 副 部 長	小堀幸子(水泳連盟)
〃	浅賀公子(テニス協会)

会長挨拶

皆様には平素より体育協会の活動に、ご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。お陰を持ちまして、諸行事も順調に遂行されております。

体育協会は現在様々な変革が要求されております。

先ず、高島平・日刊スポーツロードレース大会の日程・コースの変更が求められています。レース当日は板橋区民祭りと重なっています。コース内に地域の方々の駐車場・病院・消防署・郵便局・警察署等が有り、住民の皆様迷惑を掛け、安全な実施が難しくなっております。伝統ある大会を地域の皆様に喜ばれ、多くの方が安全に走れる大会にする為に検討しています。

また、インターネットの普及により、ホームページの充実が求められています。ホームページを通じて、体育協会と各加盟団体の活動を早く、広くお伝えする事が出来るようになります。例えば、区民大会や各種競技大会で優勝・入賞したアスリートを紹介し、応援していきたいと考えております。

体育協会は、今後も加盟団体の皆様の要望をお聞きして、共に区民の皆様健康な生活に寄与出来ますように活動をしてまいります。

今後も、一層のご支援とご協力をお願いし、挨拶といたします。



総務副部長 森田浩幹(少林寺拳法連盟)
 〃 福澤敏子(フロアボール協会)
 〃 緒方慎一(ゴルフ協会)
 理事 織原真理子(スポーツ振興課長)

評議員に飯田陽子さん(ゴルフ協会)が選任されました。任期は平成30年度に開催される定時評議員会終結の時までです。

監事に藤田雅史さん(板橋区区民文化部長)が選任されました。田中範行さん(前板橋区区民文化部長)の人事異動に伴うものです。

以下の方々が退任されました。

これまでのご尽力に感謝します。ありがとうございました。渡辺勇一、宮坂吉胤、石井保範

(高澤誠 記)

評議員会を開催

平成26年度の定時評議員会が6月23日(月)午後6時30分から小豆沢体育館の多目的室で開催されました。下田会長の挨拶に続き、議長にフロアボール協会の高橋功評議員を選出し、全評議員26名中19名が出席して定足数に達していることを確認した後議事に入りました。

議事は以下の通りでした。

- 第1号議案 平成25年度事業報告
- 第2号議案 平成25年度決算報告(案)
- 第3号議案 平成25年度監査報告
- 第4号議案 板橋区スポーツ吹矢協会の加盟
- 第5号議案 評議員・理事・監事の選任

第1号議案、第2号議案、第3号議案および第5号議案は承認されましたが、第4号議案の板橋区スポーツ吹矢協会の加盟は吹矢の団体として「レクリエーション吹矢」、「スポーツ吹矢」等複数の団体が存在すること、また競技名称の使用に関して調整が必要であることから、この評議員会では加盟を見送ることとなりました。

第1号議案の平成25年度事業報告では

- ① 区民大会の参加者数が前年より減少しましたが、これはスキー競技が天候不良で中止になったことによること。

- ② 高島平・日刊スポーツロードレースの申込者数は増加しましたが、完走者数が台風の影響で減少したこと。

- ③ 区民ハイキングを2回予定しましたが、2回目の10月26日は台風のため中止したこと。

- ④ 2014板橋Cityマラソンの参加者数が増加したこと。

- ⑤ 体協ニュースの発行回数を3回予定していましたが2回に訂正し、平成26年度には4回発行すること。

等の説明がありました。

第2号議案の平成25年度決算報告では

- ① 高島平・日刊スポーツロードレースの協賛企業が関係者の努力で増えたことにより収入が増額となったこと。

- ② 自動販売機の収入が増えたこと。

等の説明がありました。

また、議事終了後に臨時理事会が開催され、各理事の所属部を決定し評議員会に報告して終了となりました。(石井保範 記)

代表委員会を開催

本年度第1回目の加盟団体代表委員会が5月19日(月)午後6時30分から小豆沢体育館の多目的室で開催されました。

下田会長の挨拶に続き議長に下田会長を選出し、この委員会が定足数に達していることを確認後、平成25年度事業報告と平成25年度決算報告を諮問し、いずれも原案通り了承されました。

平成25年度事業報告の特筆点は次の通りです。

- 1 区民体育大会の参加者数が前年より減少したが、これは3月に実施予定のスキー協会の大会



高澤専務の説明を聴く代表委員

が天候不良のため中止になったこと。

2 10月20日(日)悪天候の中実施された高日ロードレースにゲストランナーとして川内優輝さん(埼玉県庁)と大久保絵里さん(ミキハウス)が出場したこと。

3 区民ハイキングの2回目を10月26日(土)に八ヶ岳で実施することとしていたが、台風接近で危険なため急きょ、中止したこと。

4 板橋Cityマラソンのキッズランも今回からタイムを計測し、表彰したこと。

平成25年度決算報告では東京都に報告する様式で作成した書類に基づいて丁寧に説明されました。

また、平成26年度から体育協会の組織を改正することの報告がありました。

- ① 財政部→企画・財政部
- ② 事業部→ロードレース事業部とハイキング事業部に分割
- ③ 広報部と総務部は変更なし。

最後に加藤副会長の閉会のことばで終了しました。(石井保範 記)

第67回 都民体育大会 総合成績 女子4位、男子9位

結団式に29団体 120余名が結集

平成26年4月23日(水)午後7時から区立文化会館大会議室で第67回都民体育大会板橋区代表選手結団式が行われました。最初に板橋区坂本健区長、次いで茂野善之区議会議長から「スポーツの板橋」を目指し、日頃の練習の成果を発揮して昨年の成績を上



団旗授与 坂本区長から下田会長へ

回るよう期待する旨の挨拶がありました。その後に坂本区長から下田団長(体育協会会長)に団旗が授与されました。下田団長から、総合成績は男子は残念ながら最近2桁の順位となっているので頑張ってもらいたい。女子は1桁台で安定した成績を収めている。なかでも卓球の6連覇とバドミントンの2連覇に期待すると挨拶されました。次いで参加団体と選手の紹介となりました。体協加盟24団体、未加盟5団体の29団体の選手が紹介され、選手を代表してバスケットボール連盟の「原田純」選手が力強く選手宣誓を行いました。最後に体協の高澤専務から注意事項の説明があり、豊泉副会長の閉会の辞で終了となりました。(石井保範 記)

都民体育大会・ 東京都障害者スポーツ大会合同開会式

また5月11日(日)に第67回都民体育大会と第15回東京都障害者スポーツ大会の合同開会式が、東京体育館で53市区町村の3,373人が参加して開催されました。今回は2020年東京オリンピック開催決定後の合同開会式ということで、歴代のオリンピックメダリスト、パラリンピックの選手がゲストで参加され、会場は大変盛り上がりしました。

第1部合同開会式(式典)

- 開式通告……宮下純一さんと佐藤真海さん
- 選手入場……先頭に前年度男女優勝の大田区が入場、板橋区は19番目に安田理事の団旗に続き、下田会長以下参加者が堂々と行進しました。



堂々と行進する板橋区

開会宣言は山本博東京都体育協会会長

今年度より、ロサンゼルス・アテネオリンピックにおいてアーチェリー競技でメダルを獲得された山

本博氏が東京都体育協会会長に就任され、開会宣言を行いました。その後、主催者挨拶、来賓祝辞、優勝杯返還、交歓セレモニー、選手宣誓、閉会通告式は終了しました。

続いて東京都体育協会表彰式が行われ、生涯スポーツ功労者表彰では、板橋区弓道連盟宮田昌子氏が功労者表彰代表で山本博東京都体育協会会長より賞状を授与されました。生涯スポーツ優良団体では、板橋区軟式野球連盟が表彰されました。



表彰される弓道連盟の宮田昌子さん



表彰された宮田昌子さんと軟式野球連盟

第2部交歓プログラム

障害のある人ない人がお互いのスポーツ競技への理解を深め合い、そして2020年オリンピックをみんなの力で素晴らしい大会にするための交歓プログラムが開催されました。

ゲストトークショーでは、メダリストの森末慎二さん、宮下純一さん、パラリンピック選手の佐藤真海さん、京谷和幸さんによるオリンピック裏話で盛り上がりました。

続いてゲストと一緒に大玉送り、ゆりーとダンスフィナーレでプログラムは終了しました。

(小林恵子 記)

卓球女子は6連覇

平成25年7月21日(日)から平成26年6月21日(土)までの1年を夏季大会、冬季大会、春季大会と3季にわけて行われた第67回都民体育大会の閉会式が6月21日(土)に日本青年館で行われ、成績が発表されました。

総合成績では、女子は今年の5位より一つ順位を上げて4位、男子も各競技での努力の結果一昨年の19位、昨年の14位から3年ぶりに一けた台の9位となりました。残念ながら入賞の8位にはもう一つ届きませんでした。

総合成績の対象となる正式競技の入賞種目をみると、男子はバスケットボール・サッカーが2位、陸上が4位、軟式野球・ソフトボールが5位、アーチェリーが6位、駅伝・水泳が7位でした。

女子は卓球が1位、バドミントンが2位、水泳が4位、陸上・弓道が5位でした。卓球は、堂々の6連覇を達成しましたが、バドミントンは残念ながら2連覇をのがしました。

＜男女別の総合成績＞

男子

1位	世田谷区	147.83	6位	江戸川区	77.50
2位	練馬区	141.00	7位	足立区	75.33
3位	大田区	112.00	8位	新宿区	75.00
4位	江東区	100.00	9位	板橋区	72.50
5位	八王子市	92.83			

女子

1位	大田区	94.00	5位	調布市	46.50
2位	世田谷区	74.50	6位	新宿区	44.50
3位	江東区	55.50	7位	杉並区	42.00
4位	板橋区	53.00	7位	練馬区	42.00

総合得点は正式競技の競技ごとに1位から8位までに得点が与えられた合計点です。1位12点 2位9点 3位8点 以下順位が下がるにつれ1点ずつ少なくなり、8位3点以下は得点が与えられません。なお、参加した競技には参加点として1点与えられます。

公開競技の入賞種目をみると男子はハンドボール

が1位、銃剣道が2位、ローラースケートが5位で
した。ハンドボールは3連覇でした。

女子はハンドボールが1位、少林寺拳法が4位で
した。(石井保範 記)

青少年スポーツ指導者講習会 第1講座

テーマ：板橋区のスポーツをもっと高めたい指導者のための～運動センスの向上法～
運動能力の基本は、筋肉による「バネ」の使い方にある

講師：池上信三氏

プライマリーモーション指導協会会長
スポーツ動作分析研究家

日時：平成26年6月6日(金) 6時30分～

会場：板橋区立文化会館4階大会議室



平成26年度青少年スポーツ指導者講習会の第1講座は、講師に池上信三先生を迎え開催されました。運動センスは、生まれつきで努力しても向上しないという基本概念を打ち破るのが狙いの講演でした。

④ まず自分でその場でジャンプ(実際に飛んでみる)

講演は、参加者全員がその場でジャンプを体験する「体験型」で開始しました。ジャンプすると高低差が出るのはどうしてか？という疑問を抱き、その解決は「筋肉によるバネの使い方」に関係があるのでは？と考えることとなります。このジャンプの動作を下記15のステップで実施し、運動センス向上に結びつけそれぞれの現場で活かしてほしいと説明されました。

1. 足を曲げて伸ばす。その動きを意識して力強くジャンプ。バネを強く押し込む要領で！
2. 主動作筋を意識して高くジャンプ！
3. 動かされれば跳ね返る「バネ」を使う
4. 弾力が適切に出る力の入れ方で！

5. 柔軟性があるほど…

6. 筋肉の弾力が体をバネにする！
7. 体幹を鍛えると動作が安定する！
8. しなりの弾力を戻すと勢いが増す！
9. 正しいひねりを戻すときに勢いが増す！
10. ジャストタイミングでのダメ押しで勢いを増す
11. 考えて、考えの通りに動いたらどんな感じかをまた考える。後は考えずに感覚だけで動く！
12. 動作の感覚をイメージし、イメージ通りに！
13. 無理して、無理し過ぎに近い最適な練習量を！
14. 天才型、秀才型、努力型のどれかの指導を！
15. 過去を輝かせる「今」を作ろう！

以上の15ステップで、運動の中のバネ動作の重要性を認識し、バネトレーニングを実施する事により運動センスは確実に向上する事に結び付きます。

つまり、「筋肉が弾む感覚」を覚えると「運動センス＝運動の基本」が身につき、上手な選手の運動感覚と同じ「バネ」のような、しなやかな運動感覚が覚えられるという事でした。

質問コーナーでは、講演時間をオーバーするぐらい質問がだされ、終了するのが惜しまれるほどでした。参加者は138名を数え開始から終了まで、時間の経過も忘れるほどの熱演でした。この有意義な講演は我々の今後の指導に必ず活かされ、成果に結び付くと確信出来る講演でした。(八木二三雄 記)



実技指導

板橋Cityマラソン2014 (東京・荒川市民マラソン) 全種目参加者19,277人!

平成26年3月23日(日)荒川河川敷日本陸連公認コースでCityマラソン2014が行われました。

大会は好天に恵まれ、午前8時35分に安井賢光副区長の開会宣言により開会式が始まりました。坂本健区長の挨拶、来賓の挨拶、ゲストの有森裕子さん(元マラソンランナー・オリンピックメダリスト)、加藤ゆかさん(板橋区スポーツ大使・水泳女子4×100メートルメドレーリレー 銅メダリスト)の激励があり、午前9時にマラソンがスタートしました。スタート時の気温は、13.0℃、湿度34%、西北西の風、0.9m/sでした。参加選手は17,588名で、すべての選手がスタートするまで23分かかりました。有森さん、加藤さんはコース際でランナーに声をかけたり、ハイタッチしたりして見送りました。多くのランナーも手を振って笑顔でスタートし、応援していた人々も感動しました。

体協の係りは、サブ種目のお手伝いがメインでした。9時30分にキッズラン500m 179人(小1～小3の男女)がスタートし、2km 157人(小4～小6の男女)、車いす1km 22人、ジュニア3km 106人(中学生の男女)、5km 1,225人(男女)が予定通りスタートしました。今回から5km、キッズ、ジュニアも計測記録が行なわれ10時40分からステージで表彰がありました。また5km、キッズ、ジュニアの完走者全員に後日完走証が郵送されました。

メイン会場では、ステージで表彰式と有森裕子さんのトークショー、スポンサーブースでは、出展や

販売を、飲食ブースでは完走ラーメン、ビールなどと、「板橋のいっぴん」「岩手・宮城の特産品」なども出店し、選手やサポートの方々和やかな一時を楽しんでいました。荒川河川敷は、普段から健康増進の場として、また、いこいの場として有効に活用されています。多くの方々のご協力のおかげで無事終了することができました。

◎大会結果(サブ種目)

5km 高校生男子

1位 武田 翼 0:17:07 2位 宮武 敦士 0:17:23
3位 熊谷 裕太 0:17:37

5km 一般男子

1位 樽木 将吾 0:15:20 2位 桐山 弘太 0:15:43
3位 山口 大徳 0:16:02

5km 高校女子

1位 小嶋 彩夏 0:19:26 2位 高木 千尋 0:21:56
3位 山野 紗穂 0:25:01

5km 一般女子

1位 石井 李枝 0:18:25 2位 井上 花 0:20:04
3位 荒井 美波 0:20:09

ジュニア3km 中学生男子

1位 坂元 航太 0:09:32 2位 向山 幸汰 0:10:09
3位 千葉 聡飛 0:10:25

ジュニア3km 中学生女子

1位 森崎 真綺 0:10:26 2位 米本 奈央 0:12:13
3位 山野 実菜 0:12:19

キッズラン500m 小学1年生男子

1位 宮下 朝丞 0:01:57 2位 成田 鳳亮 0:02:03
3位 田中 雄次 0:02:06

キッズラン500m 小学2年生男子

1位 木庭 修克 0:01:52 2位 阿部 仁哉 0:01:57
3位 石井 大翔 0:01:59

キッズラン500m 小学3年生男子

1位 村山 勝哉 0:01:37 2位 宮野 悠人 0:01:39
3位 三浦 詩 0:01:47



マラソン5km男子



マラソン5km女子

キッズラン500m小学1年生女子

1位 星野ひとみ 0:02:07 2位 吉村 あい 0:02:08
3位 樋口ひかり 0:02:10

キッズラン500m小学2年生女子

1位 飯塚 景子 0:02:04 2位 森 葵 0:02:06
3位 木村 高子 0:02:10

キッズラン500m小学3年生女子

1位 吉村 心 0:01:38 2位 後藤 舞桜 0:01:45
3位 恒川 芽衣 0:01:45

キッズラン2km小学4年生男子

1位 小池弘一郎 0:07:56 2位 坂元 冬弥 0:07:56
3位 村松 達也 0:07:59

キッズラン2km小学5年生男子

1位 村山 俊輔 0:07:23 2位 佐藤 幸輝 0:07:38
3位 樋口 優介 0:07:53

キッズラン2km小学6年生男子

1位 岡本 優星 0:06:41 2位 林川 隼也 0:06:50
3位 秋田 亮太 0:06:51

キッズラン2km小学5年生女子

1位 吉澤 風紗 0:07:41 2位 大澤 真純 0:07:43
3位 川口 菜月 0:08:39

キッズラン2km小学6年生女子

1位 吉川 香奈 0:07:13 2位 福田 夕依 0:07:51
3位 高橋明日香 0:09:51

(下野敏弘 記)

で、後刻、実踏時のDVDを参加者に見ていただきましたが、雪の多さに驚く声がしきりでした。実踏当日はみぞれ交じりの寒い日で、山道を歩きながらの撮影なので撮影者の荒い息づかいが聞こえるたびに笑い声も。コースの変更は、ハイキング前日に湯元ビジターセンターに山道の状況を問い合わせ、参加者の安全を考えての決定でした。

東北自動車道に入り順調に進むかと思われたのですが、羽生手前で事故渋滞、佐野SAに着いたのは8時11分、同29分に出発。

「初めての参加です。数回目です。夫婦で参加しています。親を介護しており土曜日なのでご主人に代わって貰い今日参加しています。板橋区に引っ越して間もないのですが区報を見て申し込みました。」などの参加者の自己紹介がありました。またご高齢の母親と一緒に参加された息子さん、定年して何もしないでいてはいけないと一念発起して参加された方など多くの方々の参加がありました。

宇都宮インターをおりて日光宇都宮道路に入ると新緑の木々が目の前にあり、所々に見えるヤマボウシの白い花が新緑に映えていました。

清滝口、馬返し、いろは坂を経て湯滝に到着。10時10分、各班に分かれ出発。湯滝を見上げて急な階

体協区民ハイキング

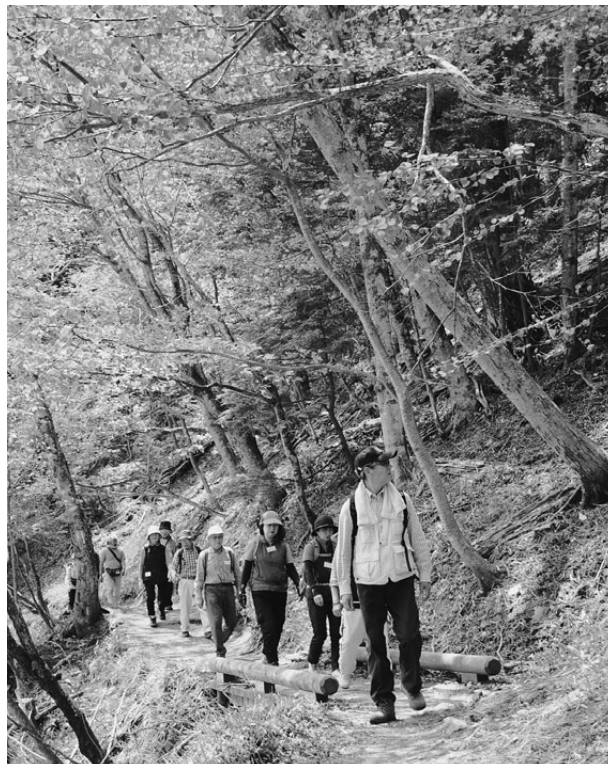
奥日光・湖水を巡るハイキング行**—奥日光 湯元・刈込湖コース—**

5月31日土曜日、晴れ 体協スタッフはグリーンホール前に6時集合。安田事業部長から「昨年秋の北八ヶ岳の区民ハイキングは台風のため中止となりましたが、今日は好天候です。奥日光は1年振りのハイキングです。怪我の無いように十分に注意していきましょう」という挨拶から始まりました。

受付、バスの座席表などを準備している中、早くも参加者が集まり始めました。

6時35分グリーンホール前を出発。参加72名（応募総数102名）、バス2台での出発です。

1号車では小抜武雄体協理事から、当初予定していた光徳牧場から切込湖・刈込湖・湯元温泉コースは、残雪が多いため、湯滝→湯の湖→刈込湖→湯元に戻るコースに変更する旨の説明がされました。これは5月17日に行われた実踏でも予想されたこと



湯の湖畔を歩く参加者

段を上り、湯の湖畔を半周して湯元ビジターセンターへ。ヤシオツツジ、シャクナゲの花を見、ウグイスやシジュウカラの野鳥の鳴き声を聞きながら、刈込湖へのちょうど良い準備運動ウォーキングでした。

雪の残る山道を鳥の声を聞きながら再度バスに乗り刈込湖・切込湖コース入口に。11時50分いよいよ刈込湖を目指します。途中休憩するところが少ないため早めに昼食を摂る班、小峠で予定する班、刈込湖でゆっくり摂ろうと進む班等さまざまです。結構急なアップダウンを経て刈込湖に着く途中には雪が残っており、足下に注意しながらの行程です。1時間ほど歩きます。いよいよ刈込湖に一拳に降りる坂道、階段です。刈込湖畔に着き、降りてきた坂道を見上げ「帰りはこの道に戻るんですかあ!？」の声も。「そうです。帰りはひたすら湯元温泉の入浴を楽しみにして歩いてください」

班ごとに昼食、休憩をとりました。40分ほど切込湖方面からの道を見ていたのですが、歩いていたのは1組2人のグループだけでした。コース変更は正解。

「奥日光高原ホテル」での入浴を目指して戻ります。

奥日光高原ホテルには3時頃から各班が着き始め



帰路の小峠で一休み

ました。同ホテルは昨年に続き2回目。露天風呂もあり、ゆっくりと疲れを取ることができました。入口正面脇には美味しい泉水もでており、ペットボトルに汲んでゆく参加者もいました。

4時10分出発。バスの中は……静かです。途中、佐野SAで休憩。7時30分、無事出発地グリーンホールに帰着しました。

帰路、参加者の感想をお聞きしました。もう少し長めのコースを企画して欲しい、戦場ヶ原を歩きたい、秋にもこのコースを企画して欲しい、温泉が良かった！ 前回中止となった北八ヶ岳を是非実施して欲しい、上高地、尾瀬を企画して欲しい、年2回ではなくもっと回数を増やして欲しい、等々のご意見をいただきました。(藤野一郎 記)

連盟協会だより

陸上競技協会

駅伝競走 見事7位入賞

復活を目指して第67回都民体育大会冬季大会の駅伝競走が平成26年3月9日(日)に都立武蔵野の森公園特設会場(5km6区間)で行われました。

一昨年18位、昨年16位と低迷している板橋。復活すべく今年は何とか10位以内を目標に挑みました。

各地区がエース級を揃える一区には、若手ながら経験豊富な「西方」、16位と出遅れましたがトップとの差は1分30秒ほど。二区は初出場ながらエースの「橋本」。見事10人のごぼう抜きを演じ、区間1位で6位まで押し上げ、三区の「安井」へ。安井も



力走する選手

区間3位と好走し、4位で後半に託しました。そして、四区ベテランの「大塩」、五区市民ランナーの「所」とつなぎアンカーの六区は教員ランナー「田澤」が何とか一桁順位を守り、見事7位でフィニッシュしました。優勝の八王子市とは5分30秒ほどの差。来年はこの差をさらに縮め、優勝へもう一歩近づきたいと思います。(渡辺律雄 記)

「さようなら国立競技場」

5月11日(日)に『セイコーゴールデングラプリ2014東京』が国立霞ヶ丘競技場で開催されました。2020東京オリンピックに備えて取り壊されるため最後のトラック&フィールドの競技会でした。国内外のトップ選手たちが集結し、男子800mでは日本新記録も誕生しましたが、なんとといっても男子100mのJガトリン選手の迫力ある走りは圧巻でした。

サブイベントとして実施された小学生男子4×100mリレーと小学生女子100mに板橋陸協が運営する板橋アスレチッククラブ所属の選手たちが出場しました。1走ケベ・ママドゥー⇒2走 天野 翼⇒3走 齊藤遼平⇒4走 大島 巧で臨んだ板橋AC男子リレーチームは惜しくも8着でしたが、国立競技場の大観衆や雰囲気負けることなく立派にバトンを継ぎました。

女子100mに出場した菊池ジェニファー愛華は実力を十分に発揮して5位に入賞しました。ウォーミングアップ中に、身近にトップ選手の動き等を見ることができた小学生の選手はとてもいい経験ができたと思います。

ヘイズ、アベベ、円谷、依田、ルイス、ジョイナー等名選手が駆け抜けた競技場が姿を消すのは寂しい思いがしますが、新国立競技場でまた新たな歴史が刻まれるのを楽しみに待ちたいと思います。

(山口高史 記)

水泳連盟

競技会の運営

今年は定例の研修会とは別に3ヶ月間に亘り自由参加ですが指導法や競技役員としての心得など技術の向上を目指した勉強会が行われました。昨年9月30日の研修会では(公財)東京都水泳協会常務理事競

技委員長、FINA指名ジャッジでもある藤森克悦先生を迎え、世界大会での競技会の話の聞き、公式大会での最新の問題点や新たな審判、判定の決定方法について講義を受け、競技会運営に関し改めてその任務を再認識し、今後の活動に役立てたいと思うところです。

都民体育大会・区民体育大会

第68回都民体育大会夏季水泳競技会は8月3日(日)改修された辰巳国際水泳場で行われます。選手の公募中ですが昨年を上まわる成績を期待しています。

第66回区民体育大会水泳競技会は昨年10月6日(日)に行われました。参加者444名で28の大会新記録が生まれる結果となりました。

会場は東洋大学総合スポーツセンター室内50mプール、近年はこの長水路での競技会となり参加者も増え喜ばしいところです。第67回競技会も同会場をお借りして10月5日(日)に行われます。参加者にとって良き大会となるよう、現在その準備に打合せを進めて取り組んでいます。(光定智子 記)

バレーボール連盟

友好交流都市 金沢市との交流

家庭婦人バレーボール大会

平成26年4月12日(土)・13日(日)の二日間で、金沢市バレーボール協会主催の「第14回金沢市教育長杯争奪家庭婦人バレーボール大会」に板橋区バレーボール連盟の川上理事長を始めとする連盟選抜の選手団と会長の私(坂本)が参加しました。金沢市とのバレーボールを通じた交流は平成22年4月に行われた第10回記念大会に初めて参加させて頂いたこと



金沢市の皆さんと一緒に

から始まりました。この大会は金沢市と友好交流都市との交流を大きな目的としており、今大会も長野県松本市を始めとする多くの友好交流都市の代表チームが参加していました。大会初日の夜は、各友好交流都市および金沢市の参加チームで親睦を目的としてレセプションが行われ、歌や踊りを交えながら各都市の特徴をアピールしていました。

急ぎょ結成したチーム故に上位に進出することは出来ませんでした。大会に参加することにより素晴らしい経験をさせていただきました。金沢市の「市技」はバレーボールということもあり、金沢市バレーボール協会のとてもスケールの大きい大会運営に私共も大変勉強になりました。(坂本寛 記)

金沢市百万石小学生大会で優勝!

板橋区と金沢市は友好交流都市で結ばれています。この度5月10日(土)、11日(日)に行われた「第15回百万石杯金沢市小学生交流バレーボール大会」に参加しました。1都9県、96チームの大きな大会でした。開会式では先頭で入場した「板三」チームは注目をあび、子供達は緊張していました。開会式後の1次予選4チームリーグ戦でも動きが硬く、心配しましたが1位でした。宿舎ではオリエンテーションで交流し、懇親会300人余の関係者で親交を深め、1日目が終わりました。2日目は1位グループのリーグ戦で1位となり、チャンピオンの部(決勝リーグ1位チーム)に勝ち進んだ強豪チームとの戦いで「楽しい!バレーボールが楽しい!」と笑顔で戦い、決勝戦は静岡県の掛川男子チームと熱戦の中勝利し、優勝杯を手に入れました。楽しく笑顔で試合をした板三の子供達に大きな感動が会場一杯に広が



2014年5月11日

優勝した板三チーム

りました。最優秀選手賞もキャプテンが受賞しました。この大会は子供達を大きく大きく育ててくれました。金沢行の三日間は強行日程で大変だと苦慮していましたが元気で明るく笑顔で優勝杯を手にした子供達の笑顔はいつまでも忘れることができない事でした。(齊藤俊子 記)

ボウリング連盟

平成26年度定時総会開催

新役員を承認

平成26年5月28日(日)午後2時から板橋区ボウリング連盟の第35回定時総会がトミコシ会館2階の王華で開催されました。定刻に渡辺副理事長の司会で始まり、川崎会長・後藤理事長の開会挨拶があり、連盟規約6章18条の規定により川崎会長を議長に選出し、審議に入りました。



審議する理事

第1号議案から第6号議案までの平成25年度事業報告、競技報告、決算報告、平成26年度予算計画が審議され承認されました。平成26年は役員改選の年にあたり、最終7号議案の役員改選では質疑応答に充分時間をかけ討議の結果参加者全員の理解をいただき新役員が承認されました。審議終了後、高嶋副理事長の閉会の挨拶で平成26年度総会を無事終了しました。

第67回都民体育大会ボウリング競技会開催

平成26年5月11日(日)都民体育大会ボウリング競技会が調布ボウリングセンターで開催され、板橋区代表として男・女2チームが参加しました。入賞は前・後半3ゲームずつ合計6ゲームのトータルピンで順位を決定します。板橋区は最終結果男子12位、



ボウリング大会

女子10位で入賞は出来ませんでした。女子チームは前半終了時5位と健闘し、好位置に付けたのですが残念ながら後半スコアが伸びませんでした。来年以降に期待したいと思います。(後藤幸治 記)

柔道連盟

総会を開催

平成26年2月23日(日)に平成25年度の総会が開催されました。

事業報告で平成25年度の昇段審査会、講習会における各段の合格者が初段233名(女子28名)、二段35名(女子18名)、三段18名(女子0名)の計286名(女子46名)であったことや各大会における板橋区の成績、区民大会の結果等が報告されました。

次に収支報告が若月監査役から説明され、全員の拍手で承認されました。

最後に今年度の事業計画案、指導者講習会、審判講習会の予定等が報告されました。特に審判講習会についてはここ数年毎年のようにルール変更が行われ、審判をされる先生方が混乱されることもあり10月の区民体育大会には万全を記すために本年も2回講師の先生を招いて開催することとしました。

また、今回は永年板橋区柔道連盟の会長としてご尽力された谷藤先生が勇退され、新しく砂田前理事長が新会長として推戴されました。谷藤前会長には長きに渡って板橋区柔道連盟に対してご指導、ご尽力を戴き感謝の念にたえません。

新しく会長になられた砂田先生には今後の板橋区柔道連盟を引っ張って戴き、ますます活力ある素晴らしい連盟への成長を理事の全先生方と一致協力して邁進して頂きたいと思います。(中山俊昭 記)

武術太極拳連盟

いたばしカンフークラブは今日も元気です!

「いたばしカンフークラブ」は昨年11月に開講したとても若い教室です。子供から大人まで、楽しく中国武術を学ぶことを目的に開設され、特に子供たちに向けた普及活動に力を入れています。

講師には2013年第12回世界選手権大会男子南拳種目準優勝、2014年全日本武術太極拳競技会南拳種目優勝の中田光紀先生を迎え、現在子ども7名、大人7名が元気に武術に取り組んでいます。教室では動きが大きい長拳を中心に活動しますが、練習場いっぱい子ども達が生き生きと飛び回る様子は見るだけで大人も元気になります。



太極拳

中田先生は実力派であるだけでなく若くハンサムなのでクラブに通う子ども達のお母さん達にも大人気で、ダイエット感覚で子どもと一緒に練習する方も多いです。遠くから通ってくださる生徒さんもおられ、少人数ながらとても活気のある教室になったと自負しています。

これからも子ども達の笑顔と共に、楽しく中国武術に取り組んでいきたいと思っています。見学等いつでも受け付けていますので、皆様お気軽に覗いてみて下さい。(成松恵子 記)

アーチェリー協会

都民体育大会、男子6位入賞

今年は男女別日程で実施

例年は駒沢球技場で行なわれますが、今年是小金井公園アーチェリー場。定員の関係で男女別々の日

程でチーム3人の団体戦が行われました。男子は前半の50mで9位と出遅れましたが後半の30mで奮闘し、6位に入賞しました。女子の試合は終日雨という最悪のコンディションの中、浅田真紀子選手が個人最高得点を出しましたが団体では11位に終わりました。3年前の優勝、2年前の3位という実績に周囲からの期待はすごく、選手には大変なプレッシャーになったようです。来年こそ男女アベック優勝を！

初心者教室開催

5月11日から毎日曜日、4回にわたって恒例の初心者教室が行われました。今年も募集人員オーバーのため抽選で30名が選ばれました。女子中学生から70代のお父さんやお母さんが集まりました。安全講習、ストレッチから始まり、弓具を組み立てていよいよ的に向かって発射。「結構、簡単ですね」「おもしろい」の声が聞こえてきます。朝早くから会場の準備をして教室がうまくいくか心配していた指導員の顔が思わずゆるみます。アーチェリーは老若男女、体型に関係なく誰でも出来る生涯スポーツです。より多くの初心者にアーチェリーを続けて欲しいと思います。

教室最終日は練習試合を行いました。今まで教えてきた指導員もこの日ばかりは後ろで見ているだけ。生徒も先生も大満足の教室でした。

(井草健二 記)



アーチェリー (女子)

少林寺拳法連盟 都民体育大会

5月5日、「第67回都民体育大会春季大会・少林寺拳法競技」が東京武道館において開催されました。

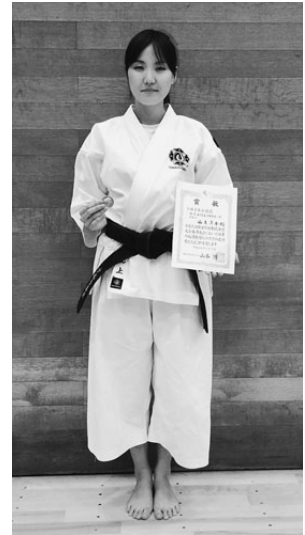
本大会には、公益財団法人東京都体育協会の中野英則理事長、一般財団法人少林寺拳法連盟の新井庸弘会長がご臨席され、中野理事長からは都民体育大会の意義、新井会長からは大会を通じて人と人との繋がりの大切さなどについてご挨拶がありました。

本大会には、板橋区代表として西村昌彦拳士と山上真季拳士が出場し、山上拳士が女子単独演武の部において堂々と二位となりました。

毎年、当連盟では全六種目への参加と入賞を目指していますが、毎年、本大会がゴールデンウィークの真ただ中に行われますので、諸般の事情によって出場が出来ない方も多くいるようです。

今後は、都民体育大会への参加意義などをアピールするなど、まずは全六種目への参加を目指したいと思っています。そのためには年間を通して板橋区少林寺拳法連盟による合同強化稽古、各級指導者講習会などの充実を図って行きたいと思っています。

(鈴木秀孝 記)



2位の山上拳士

ライフル射撃協会

ライフル射撃について

スポーツには様々な種目がありますが、そのほとんどが「動」のスポーツです。しかしながら、ライフル射撃はどちらかと言うと「静」のスポーツになります。競技種目にもよりますが、40発～120発の発射弾数を撃つ時は体を静止し、標的に対し全神経を集中しなければなりません。銃を保持するために筋力は使いますが、意識的に動かすのは引き金にかけた人差し指だけです。このため、点数の良し悪しにはメンタルな要素も多く含まれております。体調が悪かったり、雑念があると必ずと言っていいほど、スコアに影響します。ライフル射撃というと警察の許可を受けライフル銃を所持しますので特異性のあるスポーツになるかもしれませんが、「遠くの物に



10mエアライフル立射60発

当てる」という行為は本能的に人間が持っている性分だと思えます。10mから300m先の公式標的に照準器を通し、正確に狙うというのはまさにライフル射撃の醍醐味です。当協会では毎週水曜日の18:30からライフル射撃の基礎となるビームライフル（光線銃）射撃を東板橋体育館の地下で実施しております。ビームライフルといえどもその精度は実弾射撃以上のものがあります。ライフル射撃の経験をしてみたい方は是非お越し下さい。（三浦尚元 記）

バドミントン協会

バドミントン女子準優勝

第67回都民体育大会バドミントン競技女子の大会は、5月18日(日)稲城市総合体育館で44チームが参加して開催され、板橋女子チームは健闘して準優勝を獲得しました。

昨年優勝した板橋チームですが、まずは選手全員で初戦突破を目指し1回戦は町田市と対戦し、勝利。2回戦は昨年も対戦した中野区。「一般」ペアの試合が接戦でファイナルとなりましたが、最後は相手のサービスミスでポイントして勝利しました。続いて3回戦は葛飾区に勝ち、準決勝は杉並区。ここでも「一般」がファイナルとなりましたが、接戦を制しました。決勝は昨年2回戦で対戦し、勝っている台東区です。「一般」の相手は実力のある選手が出場して、白熱した試合展開となり、板橋の選手も頑張りましたが、一歩力及ばず1-2で敗れ、惜しくも準優勝となりました。



バドミントン女子準優勝

戦績 準優勝

1回戦	2 - 1	町田市
2回戦	2 - 0	中野区
3回戦	2 - 0	葛飾区
準決勝	2 - 0	杉並区
決勝	1 - 2	台東区

監督 小林 恵子

選手 梯 栄子 川 俊恵 佐藤 千穂
井上 敦子 上田 彰子 佐々木静子
関 亜由美 柴田 展子 中川 雅恵

(関昭 記)

サッカー連盟

浮間舟渡フットサルパーク開場

水再生センター屋上に！

4月13日(日)浮間舟渡フットサルパークが区内3番目のサッカー場として開場しました。浮間舟渡駅裏手に位置し、水再生センターの屋上に全天候型人工芝のフットサルコート1面がこのほど完成しました。荒川戸田橋サッカー場、高島平少年サッカー場に次ぐ3番目のサッカー場です。

フットサル競技は、ご高承の通り小さいコート、少人数で行い、オフサイドが無く、手軽にプレーが楽しめる室内サッカーとして発展し、既に世界選手権やワールドカップが開かれ日本代表が大変活躍しています。

ヨーロッパや南米出身の多くの有名サッカー選手は少年時代にフットサルに親しみ、おおいに腕を磨き世界のプレーヤーとして活躍しています。

サッカー連盟では、区内フットサル競技の普及、

振興、発展の礎として有意義に活用したいと思っています。

フットサル競技を通して、青少年の健全育成・サッカー選手の育成、スポーツの楽しさを教える一方、女子サッカー『なでしこ板橋』結成を目標に高齢化社会の中、何時までも健康で活動出来る場として有意義に活用したいと思います。

板橋区・北区交流フットサル大会を開催

キッズ（未就学児・小学1・2）サッカー教室開催

4月13日(日)午前8時快晴の空の下、坂本健区長、茂野区議会議長、区議会議員、教育長、スポーツ推進委員長、サッカー連盟から長谷川サッカー連盟会長、時任副会長、福手理事長、高田副理事長他、大勢のご来賓の出席により盛大に開場式が挙行されました。

坂本区長から当フットサルパークが区民の健康の増進とサッカースポーツ発展の振興の礎になることを期待すると挨拶がありました。続いて来賓を代表して、サッカー連盟長谷川会長がサッカー競技を通してスポーツの楽しさと健康の増進に寄与したいと祝辞を述べました。



キッズサッカー教室

引き続き北区側サッカー場に場所を移し板橋区・北区交流フットサル大会開会式が挙行されました。

板橋・北区から選抜された各々男子4チーム、女子2チームが参加しました。

午前9時30分から交流フットサル大会が開始され熱戦を展開した結果、男子の部、女子の部とも板橋区が優勝しました。

成績は以下の通りです。

男子の部

優勝 板橋トレセンレッド

準優勝 北区男子トレセンC

女子の部

優勝 板橋トレセンレッド

準優勝 北区女子U-12

交流フットサル大会に引き続き「FC東京」普及部の指導によりキッズサッカー教室が開催されました。

午後1時30分、未就学児童・年中組・年長組に分かれて、お父さん・お母さんと一緒にボールを追いかけてみました。ゲーム形式で、大人組と子供組に分かれた親子対決ゲームは、ボールがゴールインする度に大きな歓声上がり、しばしの楽しいひと時を楽しみました。

午後2時45分から小学生部が始まり1年生組・2年生組に分かれゲーム形式でのサッカー教室が行われました。小学生の中には、目を見張るプレーが飛び出す場面が沢山ありました。

参加選手は、FC東京から応援グッズ等記念品を、板橋区から飲み物等を戴き解散、楽しそうに家路に就きました。
(八木二三雄 記)

〔指導者交流研修会〕

ソフトボールの体験研修ほかで交流が盛り上がる

梅雨が本格化した6月28日(土)の午前8時過ぎ、雨予報のグリーンホール横から36名を乗せて出発した「指導者交流研修会」バスは、東日本大震災以降3年目となる福島地区支援を名目に、今年では会津の裏磐梯におけるソフトボール体験研修をはじめ五色

沼ハイキング、会津若松市の鶴ヶ城見学、大内宿散策と、下田会長が提唱する『楽しい体協』を実践する1泊2日の行程がスタートしました。

☑ 車中研修始まる

バスが環七から鹿浜の首都高を経て東北道へ入る

と、若月総務部長が参加者へのお礼と行程説明、加藤副会長は体協が目指す「楽しい体協」の具体例をあげた体協をPR後、メインのソフトボール連盟による車中研修が始まりました。

先ず、北京オリンピックで金メダルを獲得したソフトボールのテレビ放送を編集したDVDを視聴するべく試みましたが再生できず本題の講義へ。

ソフトボール連盟早川副理事長が、ソフトボール発祥の起源、実業団やオリンピック種目を頂点とするファーストピッチに対しローピッチルールを、さらに安全性を高めた「ジョイフルスローピッチソフトボール」を研修しました。

回 競技の特徴

この競技の大きな特徴は、「使用するボールは3号ボール(φ97mm)サイズで幾分柔らかい専用ボールを使用。ピッチャーはバッターの身長の高さの範囲内を通過させて打者に投球する点はローピッチと同じですが、ホームベースの後ろにストライクマットを継ぎ足したスペースも含めた位置へバウンドしたボールをストライクにカウントします。また3塁からホームインする走者とのクロスプレーを避けるため、従来のホームベースから3メートル離して第2ホームベースを設置し、走者はそれに触れないとホームインが認められず、さらに3塁とホームの間にラインが引かれ、3塁走者がそのラインを越えると3塁に戻れません。走者の離塁は、投球を打者が打つかボールがホームベースに到達後、またはワンバウンド後でなければ離塁すると離塁アウトに。

また、打者が空振りした時の離塁は元の塁に戻し、離塁アウトが優先します。ほかにバント、盗塁、スライディングは禁止。守備はすべて10名等々が特徴である等のルールを資料の図解で説明されました。

使用する黄色の見本ボールが座席を一周する頃に猪苗代湖畔にある「中華西湖」に到着しました。

回 猪苗代湖畔で中華料理の昼食に舌鼓

次々と運ばれてくる中華料理の昼食に舌鼓を打ちましたが、さすが食欲旺盛の参加者揃い?のせいなのか、ご飯が不足してしばし炊き上がりを待ちつつ、湖面を眺望する余裕もなく気持ちは早、食後の実戦に思いを馳せるひと時でもありました。食後の休憩

も惜しんで再びバスに乗ること約10分、猪苗代町運動公園の一角にあるソフトボール球場へ。

回 ストレッチとベースランで怪我予防

足の骨折や捻挫、アキレス腱損傷等を防止のためストレッチも入念に。全員でグラウンドを一週後、ベース上での怪我を予測して各ベースでは走塁の違いを各ベースを廻りながら一人ひとりが安全走塁を確認。タイミングよく試合の準備もでき、2チームに分かれていよいよ試合開始。

回 珍プレイから好プレイへ

試合開始時は霧雨模様で肌寒さを感じ、グラウンドのバックに屹立するはずの磐梯山は裾野近くまで厚い雲に覆われていました。試合展開は、なんと言っても落ちてくるボールを待ちきれずに空振りが多く、1回戦では全員が守備に入る特別ルール採用?ながら、平凡な飛球は楽々捕球と思いきや、処理を焦ってか、ボールがグローブをすり抜けての落球や転げ込んでしまう珍プレイの連続。特に3塁走者が第2ベースを踏まずにメインのホームベースに悠々と駆け込んでアウトになるなど、大爆笑続きが一層親近感をかもし、それでもスポーツで鍛えた体や心が順応し始め、ダブルプレイやオーバーフェンスのホームランが飛び出すなど、徐々に試合らしさも高まり、心配された怪我は皆無で予定した3時間は和気あいあいのうちに経過しました。

雲に隠れながらも試合の安全を見守ってくれた磐梯山には、担当者としては「磐梯!磐梯!磐梯!」と三唱して感謝の気持で応えたかったのですが、TPOをわきまえて自制し、試合後の片付けやグラウンドのトンボかけも率先して協力いただいた参加者全員に感謝の念を抱きつつバスは15分ほどの距離に



野瀬顧問の始球式



ホテル前で

ある今宵の宿「裏磐梯ロイヤルホテル」へ到着しました。

回 盛り上がった懇親会・情報交換会

お楽しみの夜の懇親会は、昼間の汗を温泉で流した後のくつろいだ気分で同ホテル中央の3階にある洋宴会場「ベルビュー」へ。野瀬顧問の乾杯の発声後は、しゃれて彩りもよい和洋折衷の料理でアルコール類の摂取も進み、飲むほどにマイクを通した自慢ののどが途切れることなく披露され、最高に盛り上がったところで全員が肩を組んでの大合唱に広がってとりあえずお開きに。

引き続き349・351号室を打ち抜いた大部屋に会場を移したより身近な情報交換にも話に花が咲き、車中で見られなかった北京五輪ソフトボールのDVDでしたが、どうしても要望に応えるべく持ち込んだノートPCを盛り上がった部屋の中央に設置してその場にいた全員で覗き込むように観戦しました。

改めてその迫力と素晴らしさを再確認して1日目の日程を無事消化してそれぞれ各自の部屋へ。

翌29日(日)は五色沼ハイキング、毘沙門沼～赤沼～弁天沼～瑠璃沼～青沼～柳沼を見ながら全行程3.6kmの終点となる磐梯高原入り口へ。その後の鶴ヶ城見学では白虎隊が最期を遂げた飯盛山は雨に煙ってその位置は確認できず、城の案内人にその位

置を教えてもらって早足で下城。次の大内宿で箸代わりに長葱を添えた「高遠そば」の昼食。

帰路の羽生PAには、池波正太郎が描く「鬼平犯科帳」で鬼平が闊歩したという本所深川の文化文政時代(1804～1829)をイメージした店舗施設『鬼平江戸処』が昨年12月に完成。しばし、大内宿に続いて江戸時代に戻った気分を味わった後バスは一路板橋へ。

下田会長が提唱する『楽しい体協』は、各所での実践面の盛り上がり反映され、参加者それぞれに大いに成果があった交流研修会でした。

(早川恵三 記)

ホームページを更新

体協のホームページをリニューアルオープンしました。長い間更新中の画面のままで皆様にはご不便ご迷惑をおかけしました。

従前のホームページと比較して、検索のし易さを考慮し、またイベントの案内などが見やすくなったのではないかと思いますがいかがでしょうか。

各連盟・協会のイベント等も即時アップまたはリンクをしますので、大会予定や結果など随時ご連絡をお願いします。

• **体協ホームページ**

URL : <http://www.itabashi-taikyo.or.jp/>

• **連絡先アドレス**

taikyou-hp@itabashi-taikyo.or.jp (関昭 記)

4月に事務局の人事異動がありました。

新	旧
事務局員 中村 泰之	杉本 匡夫

編集後記

体協ニュース第91号をお届けします。
 今回も発行にあたり、各連盟・協会からご寄稿を頂き有難うございます。引き続きご寄稿のご協力をよろしくお願い致します。
 このニュースがお手元に届く頃はもう盛夏。各連盟・協会の方々も熱中症対策にいろいろな手立てを講じていると思いますが、特に近年は高校生を中心に熱中症になってしまう選手が増加していると言われてい

ます。選手の健康管理に留意し夏季の大会がより素晴らしいものになるようにしたいですね。
 なお、図らずもトラブルがあった場合には、体協ホームページの危機管理マニュアルからご報告をお願い致します。
 なお、広報部担当理事が交代となりましたが、引続きご協力の程よろしくお願い致します。(関昭 記)